

## 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 社会福祉学科

社会福祉学科では、講義や演習だけでなく、社会福祉施設等における実習教育など、実社会での実践的・体験的な学びを重視しています。そのような学びの中で、豊かな人間性、共生(ともいき)の精神、広い学識、進取の精神、福祉全般にわたる基礎的教養、専門的知識、実践的能力を身につけた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 読み書きなどの基礎的な学力を確実に身につけた人
- 2) 行動力や主体的に学ぶ姿勢、社会性、多様な立場の人たちとコミュニケーションをとる力、体験をとおして多くのことを感じ取るための鋭い感性、そして、体験をとおして感じたことを整理する力、つまり思考力や文章力など、実践的・体験的な学習に必要な力を持った人
- 3) ディスカッションを行う能力や、ディスカッションをとおして多様な考え方があり、多様な考え方から多様なことを柔軟に学び取る能力を持った人
- 4) 短期大学の教育理念を深く理解し、明確な目的意識と勉強意欲を持った人

については、高等学校等での学習では、コミュニケーションを行う上での基本ツールとなる国語、英語を中心として幅広く教科を勉強し、基礎的な学力を確実に身につけるとともに、入学までにさまざまな体験に積極的にチャレンジし、明確な目的意識を形成し、体験をとおしてさまざまなことを学び取ることに慣れておくことを望みます。

### こども教育学科

次代における保育・幼児教育の専門職養成をめざす、こども教育学科のアドミッションポリシーは、その目的達成のために以下の3点の適性を重視して入学者の選抜を行う。

- 1) 教育の前提であり、保育・幼児教育の専門職となるための適性として、一定程度の国語力(読む・書く・話す等、言語的なコミュニケーションの力)を有する者であること
- 2) 専門職となるための適性として、相応の生活経験(掃除、調理や洗濯などの家事遂行の経験等)を有する者であること
- 3) 保育・幼児教育現場の特性に考慮し、一定程度の臨機応変な対応能力(即興で課題に取り組む意欲や機転、発想力等)を有する者であること

## ■ 出願資格

### 公募推薦入試、一般入試、センター試験利用入試

次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 小論文型公募推薦入試(社会福祉学科)

次の①～③のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 国語力基礎型公募推薦入試(こども教育学科)

次の①～③のいずれかに該当し、かつ④を満たす者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④ 3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の学校においては3年前期までの国語の評定平均値が3.3以上であること。ただし、高等学校卒業程度認定試験に合格、および2020年3月31日までに合格見込みの者が出願する場合、または大学入学資格検定に合格した者が出願する場合は除く

### 国語型公募推薦入試(こども教育学科)

次の①～③のいずれかに該当し、かつ④を満たす者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2020年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- ④ 3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の学校においては3年前期までの国語の評定平均値が3.5以上であること。ただし、高等学校卒業程度認定試験に合格、および2020年3月31日までに合格見込みの者が出願する場合、または大学入学資格検定に合格した者が出願する場合は除く

### 専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入試

次の①・②のいずれかに該当し、かつ③を満たす者

- ① 専門高校(※1)、高等学校の専門学科(※2)または総合学科を2020年3月卒業見込みの者
- ② 朝鮮高級学校の専門学科(※2)または総合学科を2020年3月卒業見込みの者
- ③ 3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの全体の評定平均値が社会福祉学科は3.0以上、こども教育学科は3.5以上であること

※1 「専門高校」とは、農業高校・工業高校・商業高校等専門教育を主とする高等学校を指す。

※2 「専門学科」とは、高等学校の中で農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・看護科・情報科・福祉科・理数科・体育科・音楽科・美術科・英語科等専門教育を主とする学科を指す。

## ■ 英語の資格検定試験を活用

### センター試験利用入試(前期募集)

センター試験利用入試(前期募集)において、英語の資格・検定試験で一定以上の資格・スコアを有する者については、大学入試センター試験の「外国語」の「英語」を「満点」に換算し、可否を判定します。

対象とする資格・検定試験、及び基準スコアは、下記いずれかを保有する者。

本学の当該入学試験出願期間の最終日と該当する各種資格試験の実施日を基準として過去3年以内に取得したもの

英語の資格・検定試験	「英語」を「満点」に換算するスコア
実用英語技能検定(英検)	準1級以上
TOEFL iBT®	70点以上
TOEIC® & TOEIC® S&W ※1	960点以上
GTEC(3技能版) ※2	720点以上
GTEC for STUDENTS ※2	720点以上
GTEC(CBTタイプに限る) ※2	1110点以上
GTEC CBT ※2	1070点以上
GTEC ※3	1110点以上 ただし、3技能(R,L,W)の場合は810点以上
IELTS™	5.5以上
TEAP ※1	280点以上

※1: TOEIC® とTEAPは、4技能すべてを受験した場合の点数のみとする(2技能・3技能のみの受験では不可)

※2: 2018年度以前に受験した場合

※3: 2019年度以降に受験した場合

# 公募推薦入試

## 入試方式・配点

入試方式・方式		学科	英語	国語	調査書	小論文	面接	満点	
2教科型	スタンダード方式	社会福祉学科	100点 (マーク式)	100点 (マーク式)	50点 全体の評定 平均値の10倍			250点	英語と国語の合計点に調査書の点数を加算した総合点で合否判定します。
	高得点科目重視方式	社会福祉学科	100点 (マーク式)	高得点科目 200点 (マーク式) 高得点科目が「国語」 だった場合	50点 全体の評定 平均値の10倍			350点	英語と国語のうち高得点科目1つの点数を2倍に換算し、残り1科目と調査書の点数を加算した総合点で合否判定します。
	2科目方式	社会福祉学科	100点 (マーク式)	100点 (マーク式)				200点	英語と国語の総合点で合否判定します。
学部独自推薦入試	小論文型	社会福祉学科				100点 (記述式)	100点	200点	小論文と面接の総合点で合否判定します。 試験地/深草キャンパス
	国語力基礎型	こども教育学科		200点 (マーク式) 国語力基礎テスト			100点	300点	国語力基礎テストと面接の総合点で合否判定します。 試験地/深草キャンパス
	国語型	こども教育学科		100点 (マーク式)			100点	200点	国語と面接の総合点で合否判定します。 試験地/深草キャンパス
	専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入試					100点 (記述式)	100点	200点	現役生対象の入試です。小論文と面接の総合点で合否判定します。 試験地/深草キャンパス

## 試験科目・時間

入試方式・方式		学科	教科・科目(試験科目等の内容)		解答方法	時間
2教科型	スタンダード方式 高得点科目重視方式 2科目方式	社会福祉学科	調査書	高等学校における学習成績(全体の評定平均値)の10倍※1	—	—
			英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	マーク式	70分
			国語	国語総合・現代文B・古典B(いずれも漢文を除く)	マーク式	60分
学部独自推薦入試	小論文型	社会福祉学科	小論文	小論文	記述式	60分
			面接	面接	—	—
	国語力基礎型	こども教育学科	国語	国語力基礎テスト 漢字の読み書き、対義語、四字熟語、敬語等について基礎的な内容を問います。 幅広い年齢の人たちとコミュニケーションをとるうえで必要な、基礎的な国語力をみます。	マーク式	45分
			面接	面接	—	—
	国語型	こども教育学科	国語	国語総合(古典を除く)・現代文B	マーク式	60分
			面接	面接	—	—
	専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入試			小論文	小論文	記述式
面接				面接	—	—

備考

◎調査書について

※1 高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者、大学入学資格検定合格者、外国において学校教育における12年の課程を修了した者など、調査書が提出できない者は、学習成績(全体の評定平均値)は一律3.5とし、その10倍の35点を加算します(文系型2科目方式を除く)。

併願方法について ※受験料優遇制度が適用されます。詳細はP.12~13をご覧ください。

同一試験日(1日)に複数出願できます。1日(1回)の試験で複数の合否判定。※試験日が異なれば、学部(学科・課程・専攻)および入試方式を問わず出願できます。

公募推薦入試(2教科型) ※こども教育学科は実施しません。

- 方式併願: 同一試験日において、文系型の2つの入試方式を使い、短期大学部社会福祉学科に出願(2出願)
- 学部併願: 同一試験日において、文系型の1つの入試方式を使い、短期大学部社会福祉学科と他の学部(学科・専攻)に出願(4年制学部)に最大3出願+短期大学部に1出願可能)

・各学部(学科・課程・専攻)に対応している入試方式・方式で出願する必要があります。出願しようとする学部(学科・課程・専攻)が指定する教科・科目を受験する必要があります。

# 一般入試

## 入試方式・配点

入試方式・方式		学科	英語	国語	選択科目※	満点	
一般入試	A日程・B日程	文系型 スタンダード方式	100点 (マーク式)	高得点1科目 100点(マーク式) or 100点(マーク式) ただし数学のみ記述式		200点	「英語」と「国語と選択科目のうち高得点1科目」の2科目の総合点で合否判定します。 ※3科目とも受験が必要です。
	C日程	文系型 スタンダード方式	100点 (マーク式)	100点 (マーク式)		200点	2科目の総合点で合否判定します。

※選択科目は「日本史」「世界史」「政治・経済」「数学」から1科目選択。ただし「政治・経済」はA日程のみ選択可。

## 試験科目・時間

入試方式・方式		学科	教科・科目(試験科目等の内容)		解答方法	時間	
一般入試	A日程・B日程	文系型 スタンダード方式	こども教育学科の両学科 A日程は社会福祉学科のみ B日程は社会福祉学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	マーク式	70分
				国語	国語総合・現代文B・古典B(いずれも漢文を除く)	マーク式	60分
				選択科目	「日本史B」「世界史B」「政治・経済」「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」から1科目選択 ※数学Bは「数列」「ベクトル」(「政治・経済」はA日程のみ選択可)	マーク式 ただし、「数学」のみ記述式	60分
	C日程	文系型 スタンダード方式	社会福祉学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	マーク式	70分
				国語	国語総合・現代文B・古典B(いずれも漢文を除く)	マーク式	60分

**併願方法について** ※受験料優遇制度が適用されます。詳細はP.12~13をご覧ください。

同一試験日(1日)に複数出願できます。1日(1回)の試験で複数の合否判定。※試験日が異なれば、学部(学科・課程・専攻)および入試方式を問わず出願できます。

一般入試(A日程・B日程・C日程) ※こども教育学科はB日程のみ実施します。

- 学部併願: 同一試験日において、文系型スタンダード方式を使い、短期大学の複数学科、他の学部(学科・専攻)に出願(4年制学部は最大3出願+短期大学部に最大2出願可能)

各学部(学科・課程・専攻)に対応している入試方式で出願する必要があります。出願しようとする学部(学科・課程・専攻)が指定する教科・科目を受験している必要があります。

# センター試験利用入試

## 入試型・配点

入試型	学科	大学入試センター試験					満点		
		外国語	国語	地理歴史・公民	数学	理科			
センター試験利用入試※1	前期募集	2教科型	社会福祉学科	100点 <sup>*1</sup>	+	100点	=	200点	大学入試センター試験の成績のみで合否判定します。
	中期募集	2教科型	社会福祉学科	100点	+	100点	=	200点	大学入試センター試験の成績のみで合否判定します。
	後期募集	2教科型	社会福祉学科	100点	+	100点	=	200点	大学入試センター試験の成績のみで合否判定します。

\*1 センター試験利用入試(前期募集)において、英語の資格・検定試験で一定以上の資格・スコアを有する者については、大学入試センター試験の「外国語」の「英語」を「満点」に換算し、合否を判定します。(P.54参照)

## 試験科目・時間

入試型	教科・科目数	学科	大学入試センター試験で解答すべき教科・科目					
センター試験利用入試※1	前期募集	2教科型	大学入試センター試験科目	2教科2科目	社会福祉学科	外国語 <sup>*1</sup>	「英語(「英語リスニング」を除く)」「ドイツ語」「フランス語」	から1科目
						国語	「国語(近代以降の文章)」	
	中期募集	2教科型	大学入試センター試験科目	2教科2科目	社会福祉学科	外国語	「英語(「英語リスニング」を除く)」「ドイツ語」「フランス語」	から1科目
						国語	「国語(近代以降の文章)」	
	後期募集	2教科型	大学入試センター試験科目	2教科2科目	社会福祉学科	外国語	「英語(「英語リスニング」を除く)」「ドイツ語」「フランス語」	から1科目
						国語	「国語(近代以降の文章)」	

◎センター試験利用入試科目について  
 ※1 大学入試センター試験の各教科・科目の配点については、得点を換算します。上記に指定している教科・科目数を超過して選択受験した場合は、高得点の順に指定数の教科・科目を合否判定に使用します。ただし、「外国語(「英語」)」は「筆記」(200点満点)を100点満点に換算し、「ドイツ語」「フランス語」(200点満点)を100点満点に換算します(「英語」は「英語リスニング」の成績を利用しません)。  
 ◎英語の資格・検定試験の活用について  
 \*1 英語の資格・検定試験で一定以上の資格・スコアを有する者については、大学入試センター試験の「外国語」の「英語」を「満点」に換算し合否判定します(P.54参照)。

併願方法について ※受験料優遇制度が適用されます。詳細はP.12～13をご覧ください。

同一募集区分に複数出願できません。

センター試験利用入試(前期募集・中期募集・後期募集) ※こども教育学科は実施しません。  
 同一募集区分において、同一学部(複数)の型、および複数学部(学科・課程・専攻)に出願(併願)可能

・各学部(学科・課程・専攻)に対応している入試型・方式で出願する必要があります。・出願しようとする学部(学科・課程・専攻)が指定する教科・科目を受験している必要があります。